

長崎県軟式野球連盟ホームページ開設記念

長崎県軟式野球史

2019(令和元)年度版



2019(令和元)年12月31日

全日本軟式野球連盟 長崎県支部

長崎県軟式野球連盟



3	長崎県軟式野球史 見出し
4	【序 章】 試合開始前
5	【第一章】 一回の表 ◆昭和20(1945)年～
6	一回の裏 ◆昭和28(1953)年～
7	【第二章】 二回の表 ◆昭和44(1969)年
8	二回の裏 ◆昭和45(1970)年～
9	【第三章】 三回の表 ◆昭和45(1970)年～
10	三回の裏 ◆昭和52(1977)年～
11	【第四章】 四回の表 ◆昭和53(1978)年～
12	四回の裏 ◆昭和57(1982)年～
13	【第五章】 五回の表 ◆昭和59(1984)年～
14	五回の裏 ◆昭和60(1985)年

15	【第六章】 六回の表 ◆～昭和64(1989)年
16	六回の裏 ◆平成元(1989)年～
17	【第七章】 七回の表 ◆平成元(1989)年～
18	七回の裏 ◆平成6(1994)年～ 平成10(1998)年
19	【第八章】 八回の表 ◆平成13(2001)年～
20	八回の裏 ◆平成17(2005)年～
21	【第九章】 九回の表 ◆平成20(2008)年～
22	九回の裏 ◆～平成29(2017)年
23	【第十章】 延長十回の表 ◆～平成29(2017)年
24	延長十回の裏 ◆～平成29(2017)年
25	特別延長戦 ◆平成30年～令和元年

26	天皇賜杯全日本軟式野球大会での長崎県チーム戦績表 ①
27	” ②
28	天皇賜杯長崎県予選会の支部別代表チーム勝敗表 ①
29	” ②
30	国民体育大会・軟式野球競技会での長崎県チーム戦績表
31	西日本軟式野球選手権大会での長崎県チーム戦績表
32	高松宮賜杯全日本軟式野球大会(1部)での長崎県チーム戦績表
33	高松宮賜杯全日本軟式野球大会(2部)での長崎県チーム戦績表
34	西日本軟式野球大会(1部)での長崎県チーム戦績表
35	西日本軟式野球大会(2部)での長崎県チーム戦績表
36	長崎県軟式野球選手権大会 歴代大会の優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア ①
37	” ②
38	昭和53年以降の長崎県軟式野球選手権大会での各支部代表チーム勝敗表 ①
39	” ②
40	長崎県民体育大会 歴代大会の優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア
41	平成17年(市町村合併)以降の県民体育大会 郡市代表チーム勝敗表
42	国体壮年の部(日本スポーツマスターズ)長崎県予選会の支部別チーム勝敗表
43	長崎県壮年(成年)野球大会の支部別チーム勝敗表
44	全日本少年軟式野球大会の各支部代表チーム勝敗表
45	長崎県少年軟式野球選手権大会(中学の部)の、優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア
46	長崎県少年軟式野球選手権大会(中学の部)の、各支部代表チーム勝敗表 ①
47	” ②
48	長崎県中学新人戦大会の第1回大会からの各支部代表チーム勝敗表
49	全日本少年春季長崎県大会の第1回大会からの各支部代表チーム勝敗表
50	高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会での長崎県チーム戦績表
51	長崎県少年軟式野球選手権大会(学童の部)の優勝チームと準優勝チーム
52	長崎県選抜女子野球チーム(ピクトリア長崎)の各大会戦績表
53	資 料 年 表

【序章】

◆試合開始前◆

大正8年に少年軟式大会が始まる
戦前の長崎県軟式野球界、あれこれ…

【第一章】

◆一回の表◆ 昭和20年～

原爆のガレキの中から探し出す白球
山領組が全日本選手権大会を制覇
大橋球場が完成したのは昭和26年
華やかだった炭鉱野球

◆一回の裏◆ 昭和28年～

準硬式球を使用した県下都市対抗野球大会
北高南低、の県軟式野球界勢力分布
県下都市対抗準硬式の後年は長崎勢の独壇場
長崎市民早朝野球大会は昭和34年が第1回
群雄割拠の10年間
10年ぶりに復活した軟式球の県選手権大会

【第二章】

◆二回の表◆ 昭和44年～

長崎国体で三菱重工長崎が活躍
国体出場の重工と県庁が、県選手権で決勝対決

◆二回の裏◆ 昭和45年～

親和銀行時代の幕開け
7年連続で長崎県勢の国体出場
国体初出場でベスト8の長崎日野が県選手権3連覇
天皇賜杯でベスト8と、ベスト4の親和銀行

【第三章】

◆三回の表◆ 昭和45年～

長崎県勢高校軟式野球の全国大会での活躍ぶり
県連盟の10地区が分離独立して16支部となる

◆三回の裏◆ 昭和52年～

高松宮賜杯全日本2部で上対馬漁協がV
2年後の高松宮賜杯2部でベスト4の轟クラブ

【第四章】

◆四回の表◆ 昭和53年～

県選手権で離島勢初Vの奈良尾クラブ
離島チームの活躍が目立った昭和50年代
県選手権大会ベスト4に離島勢2チーム

◆四回の裏◆ 昭和57年～

島原・南高が分離したのは昭和57年
審判技術の向上をめざし、審判協会設立

【第五章】

◆五回の表◆ 昭和59年～

高松宮賜杯1部全日本大会準優勝の轟クラブ
親和銀行が九州A級大会のチャンピオン

◆五回の裏◆ 昭和60年

長崎県開催の西日本1部大会の優勝は諫早クラブ
昭和60年に中央大会で大暴れの親和銀行

【第六章】

◆六回の表◆ ～昭和64年

国体軟式野球少年の部で島原クラブがベスト8
一巡した京都国体で三位決定戦勝利の親和銀行
西日本2部大会で準優勝の南申野球部
台頭してきた長崎県経済連チーム

◆六回の裏◆ 平成元年～

親和銀行二度目の国体準優勝は平成7年
最多の14チームが参加した平成4年の九連会長杯
九州ブロックの壁が厚い高松宮賜杯の1部と2部

【第七章】

◆七回の表◆ 平成元年～

平成時代になって西日本1部の準優勝が3チーム
ホップ!、ステップ!!、ジャンプ!!!の、ソニー長崎

◆七回の裏◆ 平成6年～

県選手権大会で親和銀行が大会タイの6連覇
抽選で決定した西日本大会の県代表
ビッグNスタジアムが完成したのは平成9年
離島の富江クラブが県民体育大会で2連覇

【第八章】

◆八回の表◆ 平成13年～

県少年選手権は、昭和47年が第1回大会
全日本少年大会で県代表が2年連続決勝戦進出
中体連の全国軟式野球大会で優勝した相浦中
チビツ子の甲子園と、ガールズベースボール

◆八回の裏◆ 平成17年～

市町村合併で県連盟の支部組織が一つ減少
悲報!、県連重鎮と相次いでの別れ…
三菱重工長崎とアイケン医院が西日本選手権ベスト8

【第九章】

◆九回の表◆ 平成20年～

国体で大健闘の長崎県選抜チーム
長崎がんばらば国体の三位決定戦は雨中戦

◆九回の裏◆ ～平成29年

8年間で二度の県選手権準優勝した舩田グループ
九州都市対抗大会で長崎同士の決勝戦

【第十章】

◆延長十回表◆ ～平成29年

2年間県内無敗と二度目の選手権6連覇の親和銀行
王貞治杯九州学童で準優勝と優勝の戸尾ファイターズ
ビッグNスタジアムで全試合の県中学選手権大会
県中学選手権大会史上初の2連覇は早岐中学校

◆延長十回裏◆ ～平成29年

新進気鋭の南原クラブとJF長崎漁連野球部に期待
九州都市対抗大会で3年連続決勝戦進出の親和銀行
チーム単独に戻った国体参加第1号は三菱重工長崎
年々進む一般チーム数の減少化

◆特別延長戦◆ 平成30年～令和元年

長崎県軟式野球連盟ホームページを開設
長崎サニクリンが西日本1部で準優勝
諫早第1野球場と第2野球場が新設
西日本選手権決勝で親和銀行がサヨナラ敗戦
九州都市対抗大会で準優勝の三菱重工長崎